

①乗台寺

約650年前に創建された佐川最古の寺院。真言宗智山派。文殊大祭は「知恵授けの文殊様」として多くの参詣をあつめる。庭園は県3大名園の一つ。



④旧浜口家住宅

江戸後期の建物で酒造業を営んだ浜口家の住宅。屋号を「生金屋」（あらがねや）といった。隣接する「ほてい」「焼酎庫」はもともと浜口家の酒蔵であった。現在は観光協会事務所として活用。

②竹村家住宅
【国指定重要文化財】

江戸中期から後期にかけて建てられた酒造業「黒金屋」（くろがねや）の店舗兼住宅。幕府巡検史の宿として使われたため武家屋敷の特徴を備える。



⑤佐川文庫庫舎

明治19年須崎警察署佐川分署として建設。県内最古の木造洋館。昭和に入り移築を繰り返し、青山文庫、民具館として活用された。平成22年に元々の上町に。



③青源寺

土佐藩主山内家の筆頭家老深尾氏の菩提寺として慶長8年(1603)に創建された臨済宗妙心寺派の寺院で、享保13年(1728)の大火で本尊他ごく一部の尊像を残し消失。現本堂は明和3年(1766)に再建されたが、土佐では珍しく明治の廃仏毀釈を免れた数少ない禅宗寺院である。庭園は禅宗好みの枯淡ながら、山側の岩を主題とし、池と空滝石組みを擁して構築されている。昭和31年高知県の指定名勝を受けている。



⑥牧野富太郎ふるさと館

牧野富太郎博士の生家跡地に再生建築された資料展示／集会施設。博士の家業は「岸屋」という酒造業。唯一残る一葉の写真から再生。

